

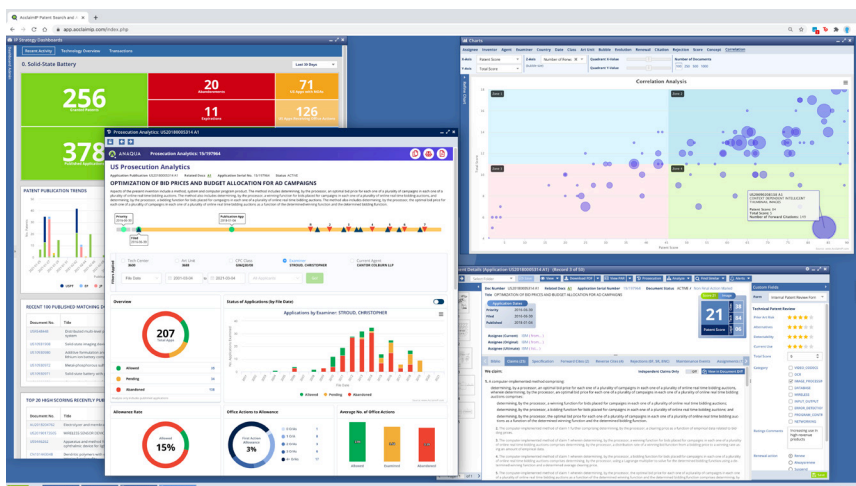
AcclaimIP — ネクストレベルの知財資産分析

製品概要

AcclaimIP (アクレイムIP) は、詳細な特許調査を実施、結果を絞り込み、経営層なども含む組織のビジネスオーディエンス向けに成果を見える化 (視覚化) して共有する必要のある知財関係者向けに設計された、特許検索および分析のソフトウェアプラットフォームです。収集・整理された特許のビッグデータベース、直感的に使用できるユーザーインターフェース、卓越したパフォーマンスを備えたコア基盤により、迅速に特許データを調査。その結果を活用することで、より優れた意思決定を実行する支援を提供します。

データカバレッジと品質

優れた成果は優れたデータが基になります。AcclaimIPは世界中の特許データを一つの場所へ集約、最新のグローバル特許群へアクセスすることを可能にします。AcclaimIPは多大な各言語英語翻訳版テキスト群もユーザーに提供しています。プラットフォームでは、毎週115,000以上の新規文書、正規化された名称、法的イベント、引用、維持更新に関連するイベント、ファミリーデータ、出願ステータス、および譲渡データを含むサポートデータが随時更新されています。



直感的で視覚的なユーザーインターフェースを通して得られるタイムリーな洞察により、意思決定者はトレンドを分析し、ポートフォリオや市場に関する独自の洞察を得ることで、より多くの情報に基づいた意思決定を行うことが可能になります。



AcclaimIPは、3つのサブスクリプションレベルで利用が可能。アドオン機能も備えています。

サーチャーは、権利化調査、先行技術調査、クリアランス調査に最適化されています。

プラクティショナーには、「サーチャー」のすべての機能に加え、包袋詳細が含まれており、包袋文書の迅速かつ直感的な確認が行えます。

アナリストには、「プラクティショナー」のすべての機能が含まれており、より詳細な分析、競合分析、複雑な可視化、テクノロジーやコンセプトのランドスケーピング機能も提供されます。

(審査官) 拒絶通知は、該当特許が出願を阻む先行技術であるとする新規性又は自明性の拒絶理由通知について、審査官の引用を調査し通知する「アナリスト」のアドオン機能です。

ユーザーエクスペリエンス

AcclaimIPのユーザーインターフェース (UI) は容易に利用方法を習得し直感的に使用できるように設計されています。UIは実際に調査をする場合のさまざまなケースを考慮してそれらを適用したものとなっています。検索を絞り込むときは、調査対象を調整したり、コンセプトや技術分野を調べたり、調査範囲を広げたり狭めたりすることで、最初からやり直すことなく簡単に検索結果を導き出すことができます。

パフォーマンス

AcclaimIPの調査機能は、単純なものから複雑なものまで、FreePatentsOnline.com (FPO) で実行された数十億もの検索シナリオに基づいて最適化された、高性能アーキテクチャの上に構築されています。AcclaimIPのパフォーマンスは、実行速度の遅いプラットフォームでは扱いにくい分析を可能にし、高速な検索、瞬時の絞り込み、包袋文書へのダイレクトアクセス、リアルタイムで実行できる出力により時間を節約し、フラストレーションを回避します。

引用検索

AcclaimIPの引用カウントおよびリストは、他のツールの引用リスト機能よりも格段にスピーディに実行されます。多くの場合、最も重要な引用は付与された特許ではなく、親出願からなされます。アドバンスド・サイテーション・データには、X、Y、およびIなど主な法域で使用されている引用カテゴリコード、および米国特許商標庁 (USPTO) で使用されている101 (特許適格性)、102 (新規性)、103 (自明性) および112 (記載要件) といった拒絶タイプが含まれます。

分類検索

AcclaimIPの分類検索は、分類階層における各分類の位置が完全に把握された形で機能拡張しています。階層の任意の地点を検索してすべての子分類を追加することができるため、子分類を探し出して時間と手間をかけて逐一検索条件に含める必要はありません。

安全なカスタムフィールド

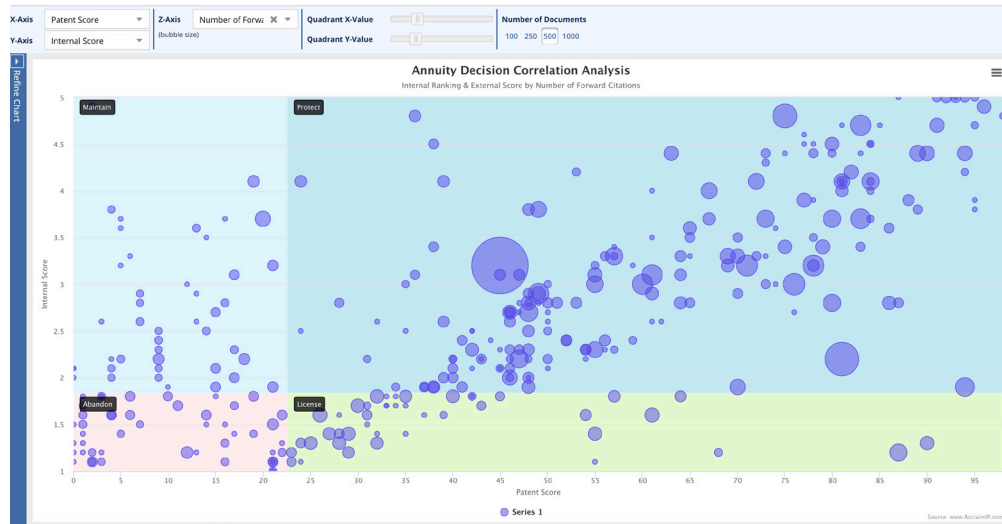
AcclaimIPは、カスタム評価システム、分類体系、タグフィールド、コメントフィールドなどのプライベートデータの安全な使用をサポートしながら、詳細で関連性の高い分析のために公開データと組み合わせ、分析を実行します。プライベートなカスタムデータはシームレスに統合されるため、それらは検索、ソート、出力が公開データと同様に動作します。

特許スコア

特許スコアとは、各特許をその技術力、引用力、法的な強さにより評価してランク付けをする定量的なアプローチです。スコアは、特許のクオリティ、有用性、市場への影響を識別するのに役立ちます。また、引用スコアは、引用の影響の全体像を把握する支援を提供します。技術スコアは、技術分類における傾向を示します。法的スコアは、係属期間、独立請求項数の長さ、及び中間処理において請求がどの程度修正されたかという基準を評価することで、法的強さを示すものとなっています。

レポート

「アナリスト」プランのユーザーは、特許所有者のポートフォリオに関するすべてのコア分析を含む洗練されたレポートを作成することができます。レポートには、自社のロゴやコーポレートカラー、およびフッターのテキストを挿入することもできます。



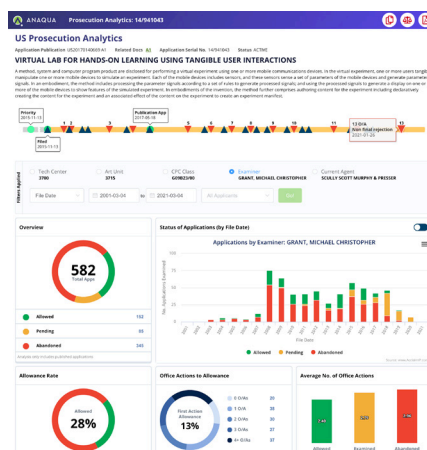
相関分析では、プライベートな内部ランキングと外部データを組み合わせて、知財資産の整理やライセンス供与などのポートフォリオ管理の意思決定をサポートします。

視覚化

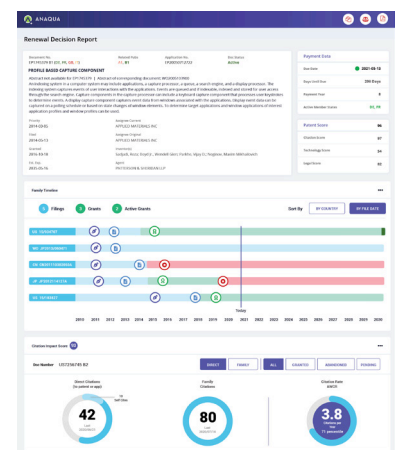
視覚化を通して、機会や脅威について関連性が高く詳細で実践的な理解を得ることで、優れたレポートやコミュニケーションが可能になります。AcclaimIPには、検索結果、分析結果、および担当者などの詳細を表示する数十種類の独自のチャート、視覚化機能、そしてインタラクティブなダッシュボードが含まれています。インタラクティブなダッシュボードは、意思決定者にタイムリーで収集・整理された情報を提供します。



特許分析レポートは、特許出願の詳細を要約します



中間処理分析レポートは、米国の特許中間処理を概説します



更新要否判断レポートは、維持更新と放棄の意思判断をサポートします

共有可能な分析レポート

AcclaimIPは、作成したレポートを署名付きのURL形式で共有することができるため、関係者間の共同意思決定も迅速で効果的なものになります。特許分析レポートは、年金、ライセンス、リスクや市場販売に関する意思決定のために必要な、資産に関する情報を確認および共有する際の時間を節約します。中間処理分析レポートは、特許審査官、分類、審査部（アートユニット）の過去の履歴情報などを把握するための独自の分析を用いて、米国のオフィスアクションに応答する際に想定されるさまざまなシナリオの下でオフィスアクションへの有効な応答を作成するための情報を提供しています。更新要否判断レポートは、情報に基づいた維持更新と放棄の意思判断を実行することを支援します。

ランドスケープ・メトリクス

AcclaimIPにはホワイトスペースを特定し、ライセンス供与の機会などを判別する際に役立つ2つの自動特許ランドスケープ機能が含まれており、メトリクスはCPC分類ベースの分類法または自然言語ベースのクラスタリングを使用して特許をマッピングしています。「アナリスト」では、技術ランドスケープを深く定義する高度な条件検索を実行します。AcclaimIPの高速検索エンジンは、最大4万件の相互参照クエリを秒単位で作成して実行し、テクノロジー分野の独自の定義を反映した結果を出力します。実行結果は、テクノロジー階層の直感的なナビゲーションとフィルタリングを使ってさらなる調整や更新が可能です。

アラート

アラートにより、特許または譲受人を高い精度で継続的に監視することができます。アラートは、任意の検索条件または検索に対して設定が可能となっています。以下は活用例となります。

- 設定した技術分野のクエリに対する新たな公開や特許許可通知（NOA）を監視
- 競合他社の動きに対する考察を活用して新市場におけるフリーダムトゥオペレート（FTO）に関する研究開発部門との協業を強化
- 放棄、特許許可通知（NOA）、米国特許102条拒絶通知、第三者異議申し立てなどの譲受人トリガーを使用して競合他社の活動を追跡
- 拒絶通知を監視して売却、侵害、ライセンス供与、および独占の機会を特定
- 競合特許のリストをファミリーメンバーとともに監視、フリーダムトゥオペレート（FTO）に影響を与え得るあらゆる活動について関係者と情報を共有

AcclaimIPは、特許調査プロセス全体の強化に最適な、高速で強力な検索および分析ツールです。AcclaimIPは意思決定者が情報に基づいた意思決定を行うことを支援します。また、中間処理費用の削減や、ライセンス取得またはライセンスアウトなどの新しい収益機会を特定したり、競合他社に対するベンチマーク評価の実行も支援します。AcclaimIPを使用することで、発明者、弁理士、研究者、経営幹部は、公開特許情報を活用して競合他社を追跡し、より強力な出願を作成したり、より詳細な情報に基づいた出願、拒絶理由通知への対応、維持更新やライセンスに関する決定を行うことができるため、より強力な特許ポートフォリオを構築することが可能になります。

072026